

2017年2月20日

～ウェザーニューズ社と連携した新サービス～
スマートフォンを活用した内航船向け安全運航支援サービスを開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、4月から、株式会社ウェザーニューズ（社長：草開千仁）と連携して、スマートフォンを活用した内航船向けの安全運航支援サービス「SIGNAL（シグナル）」を開始します。

本サービスは、ウェザーニューズ社の提供する専用スマートフォンを活用して、内航船が危険海域を航行する際に音声やメールで注意喚起するほか、気象・海象予報や本船周辺海域の映像を専用ウェブサイトで提供するものです。事故の未然防止に役立つほか、安全航路の選定にも活用いただけます。

三井住友海上では、今後もお客さまの安全運航を支援し、海難事故の防止・軽減に貢献していきます。

1. 「SIGNAL（シグナル）」の概要

- (1) 開始時期：2017年4月
- (2) 対象者：内航船（貨物船やタンカー等の商船）を対象とした船舶保険にご加入のお客さま
- (3) 利用方法：ウェザーニューズ社が提供する専用スマートフォンを本船に設置して利用します。
- (4) その他：サービスの利用にはウェザーニューズ社との有償契約が必要です。

2. 「SIGNAL（シグナル）」の特長

- (1) 危険海域航行時のアラート機能
スマートフォンのGPS機能を活用して、危険海域に接近すると音声やメール、専用ウェブサイトで注意喚起するアラート機能を搭載しており、海難事故の防止・軽減に繋がります。アラート対象は、「事故多発」、「漁具定置」、「浅瀬」の3つのエリアです。
- (2) 気象・海象予報等の提供
全国130の港における最新の気象・海象予報に加え、海上警報、台風の進路予測、波高・海流予報を提供することで、より安全な航路での運航を支援します。
- (3) 本船周辺海域映像の配信
陸上からも本船周辺海域の状況を確認できるよう、スマートフォンカメラの映像を定期的に専用ウェブサイトに配信します。最適航路の選定や本船・陸上間での安全航路の確保に向けた情報共有に役立ちます。

3. 開発の背景

内航船はCO₂排出量が少なく環境に優しいことに加え、大量輸送にも適していることから、政府の掲げるモーダルシフト※推進の手段として注目されており、今後の利用拡大が見込まれています。こうした中、当社は事故の未然防止を損害保険会社の使命と考え、これまで以上に内航船の安全運航を支援すべく、ウェザーニューズ社と連携して本サービスを開発しました。

※国内の貨物輸送をトラック輸送から、大量輸送機関である鉄道または海運に転換すること

以上

添付別紙：本サービスの全体像と専用ウェブサイトのイメージ

1. 本サービスの全体像

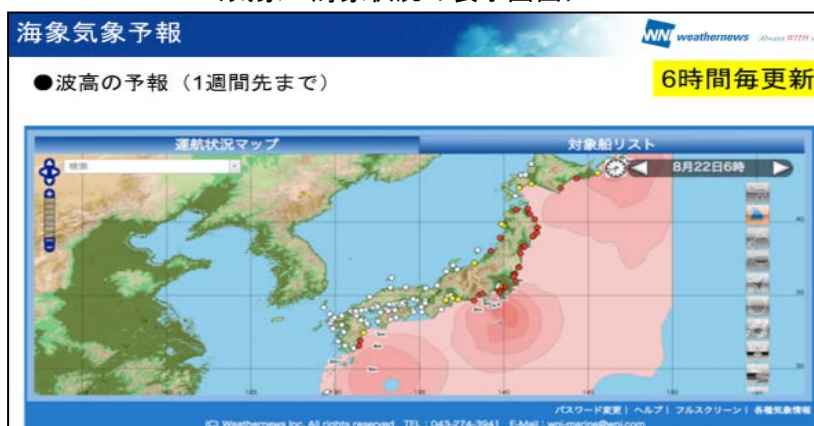


2. 専用ウェブサイトのイメージ

<危険海域の表示画面>



<気象・海象状況の表示画面>



<スマートフォンカメラからの周辺海域映像>

